

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

7月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

医療・介護従事者応援横断幕が掲げられました

新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中、市民のため最前線の現場で働く、医療・介護の関係者などに感謝の気持ちを伝えようと、国内外で建物のライトアップや一斉拍手（フライデーオーバーション、クラブ・フォー・ケアラズ）等の取り組みが始まり、全国に広がっています。

令和2年5月1日(金)、中嶋憲正山鹿市長の提案により、山鹿市役所庁舎4階に縦1メートル、横10メートルの白地に青と赤の文字で「医療・介護の関係者に心から感謝 ありがとう」と書かれた横断幕が掲げられました。



市役所庁舎の横断幕

掲示セレモニーでは中嶋市長より「世界が新型コロナウイルス感染拡大で大変な状況にある中で、私達の命を守るために第一線でご奮闘されている方々のご努力は壮絶を極めるものであり感謝にたえません。この横断幕は、そういった方々への心からの感謝と敬意を表すものです。私たちはそれらの努力に応えるためにも、自分の命、大切な人の命、社会の命を守るべく強い自覚を持って行動しなければなりません。このことを市民の皆さまに心からお願い申し上げます。最前線で医療・介護・生活支援に携わっておられる方々に、感謝と応援、そして敬意をもって大きな拍手を送りたいと思います。」(一部抜粋)とお言葉と共に、山鹿市職員の皆さまより温かい拍手をいただきました。

皆さまから頂いた応援のお言葉と横断幕を有難く受け止め、当センターはこれからも感染症指定医療機関としての役割を担うとともに、基本理念である「地域住民の生命と健康への貢献」を果たせるよう、より一層努めてまいります。

山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

医療・介護従事者応援横断幕が掲げられました … P 1
 献血のお願い …………… P 2
 医療最前線 …………… P 3
 医療支援物資の提供について …………… P 4
 公開講演会・カンサーボードのご案内 …………… P 5
 外来担当医表 (7月) …………… P 6

献血のお願い



熊本県赤十字血液センター
所長 井 清司 先生

山鹿市民医療センターの職員の皆様には、日頃より、献血に深いご理解とご支援をいただきましてありがとうございます。ご多忙な普段の業務に加えて、年始はじめより新型コロナウイルス感染症の対応にご心労の毎日と拝察し、あらためましてそのご尽力に深く敬意を表するものでございます。

ご存じの通り、熊本県赤十字血液センターは、山

鹿市民医療センター様をはじめ、県内の医療機関でご加療中の患者様に必要な血液製剤を、不足なく遅滞なくお届けすることを大切な使命としております。お蔭様で、熊本県民の皆様から広くご協力いただき、毎年、7万人余りの方々から献血いただいて、その役割を果たすことができおりました。

ところが、昨今の新型コロナウイルス感染症に関わる外出自粛の要請により、献血ルームや献血バスにご足労いただく方々もやや途絶えがちとなり、必要な血液量を確保することに苦慮しております。血液センターの職員一同、今まで以上に努力しておりますが、毎日厳しい状況が続いております。

この度、山鹿市民医療センターの職員の皆様に献血にご協力いただく機会をいただきまして感謝の言葉もありません。皆様の献血へのご協力により、大勢の患者様が救われるであろうことを、深い喜びとするものでございます。私ども血液センターの職員も、感染防止につとめ、血液センターの使命を尚一層、果たしていく所存です。今後ともご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



献血受付の様子



案内を読まれる様子



献血カー

医療最前線 (123)



外科
佐藤 伸隆 先生

☆はじめに

2019年4月より、緩和ケア病棟の病棟長と緩和ケア外来を担当しています。

以前の知識と前任者の坂田典史先生が残されたノウハウを元に、周囲の御協力をいただきながら（ケアビレッジ箱根崎施設長 小林 秀正先生には、毎週水曜日の緩和ケアチームのカンファレンスに参加いただいています。）、どうにか1年を過ごすことができました。もともとの専門である消化器癌以外の症例でも経験を重ねることで少しずつ、新たなことも取り入れられるようになりました。

☆オピオイド誘発性便秘症に対する薬剤 スインプロイク錠（一般名：ナルデメジントシル酸塩）について

スインプロイクは、2017年3月に発売が開始されたオピオイド誘発性便秘症に対する薬剤です。

以前は、薬剤性の便秘症がみられた際に種々の便秘薬を用いて対応し、スインプロイクも同様の使用法を想定していました。しかし、機序から考えると定期でのオピオイド使用とともに使用を始めることが理にかなっていると考えるようになり、頻用するようになりました。

オピオイド薬は、脳の μ 受容体を介して鎮痛作用を発揮する一方、腸管にも存在する末梢の μ 受容体とも結合し腸の運動を抑制しオピオイド誘発性の便秘となります。本剤の作用は、“消化管の末梢 μ 受容体に結合して腸管に対するオピオイドの副作用と拮抗し便秘を避ける”、という機序になります。“中枢の μ 受容体へは、血液脳関門の透過性が低下しているため作用は阻害しない特徴がある”とされています。

使用法としては、便秘になる前からの使用が推奨されるようです。便秘になってからの使用では、

内服後にそれまでに貯めていた便が一挙に出てしまいコントロールできず、患者さまに二度と使っていただけなくなることもある、という経験談を聞きました。また、機序からも頓用より定期での内服が勧められます。スインプロイクの効果不十分の場合は、最近登場した下剤（アミティーザ、グーフイス、リンゼス）やポリエチレングリコール（モビコール）やカماغなどの浸透圧性下剤、そして大腸刺激性下剤（センノシドやピコスルファートなど）など、既存の薬剤で調整する必要があります。

注意点としては、海外の報告や他の種類の下剤での注意点を踏まえ、「消化管閉塞、もしくはその疑いのある患者、既往歴があり再発のおそれの高い患者においては、消化管穿孔の危険性が高まる恐れがあるため禁忌」となっていることです。

便秘に先んじて使用するようにはしていますが、目立った効果を実感することはありませんが、大きく困ることも経験していません。

☆当院主催の緩和ケア研修会開催を目指しています

2020年12月13日（日曜日）に、当院主催では初回となる緩和ケア研修会を計画しています。緩和ケア研修会は、「がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師、緩和ケアに関わる医療従事者の方に基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することで緩和ケアが診断の時から、適切に提供されることを目的とした研修会」であり、例年、県内でも多くのがん診療連携拠点病院の主催で開催されており、初期研修医においては必須の研修となっています。県では、パラメディカルの参加についても後押ししています。研修会参加希望の方は事前に数時間のe-learningを受講していただき、当日は丸1日の集合研修を受けていただきます。小林秀正先生にも御協力いただく予定です。現在までのところ、本年度計画されていた9月までの他院開催の研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となっています。鹿本地域の緩和ケアの裾野を広げるという目的でも、是非開催したいと考えています。興味のある方はご連絡いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症に係る支援物資のご提供について

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、平素より当センターの運営に関しましてご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際しまして、多くの企業・団体様から当センターへ寄付、マスクやフェイスシールド等の医療資材、青果や飲料等の食品や生活用品等の支援物資ををご提供いただいております。

全国的な感染の拡大で、マスクやフェイスシールド等が非常に貴重な状況の中での医療資材のご提供や、新型コロナウイルス感染症への対応等で消耗している状況での心温まる支援物資のご提供は、病院スタッフ一同、感謝とともに大変心強く感じており、重ねて厚く御礼申し上げます。

ご提供いただきました医療資材につきましては、診療にあたり今後有効に活用させていただきますとともに、食品や生活用品につきましては職員一同の活力として有難く消費させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関しましては、少しずつ収束の傾向を見せつつも、依然として医療現場では緊張が続いている状況であり、皆さまからの温かいご支援、ご声援が何よりの励みになっております。これからも全職員一丸となって、安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいりますので、何卒お力添えのほどよろしくお願いいたします。



(株) LibWork 様からの寄附授与式の様子



JA 中央会・JA 果実連様からのメロン・スイカ



台湾政府からの支援物資

団体・企業名(敬称略)※五十音順	ご支援品
(株)伊藤園	お茶(280mℓ)
	煎茶ティーバッグ
鹿本農業協同組合	牛乳1,000mℓ
京セラ(株)	フェイスガード
日本コカ・コーラ(株)(日本医師会経由)	ジュース(300mℓ等)
(株)パネックス	マスク
	メロン
	スイカ
JA中央会・JA果実連(熊本市)	ジュース(200mℓ等)
	らくのうマザーズ(熊本県酪農業協同組合連合会)
正晃(株)	マスク
日本看護協会(再春館製薬)	長白仙参
日本看護協会(FANCL)	クレンジングオイル
日本看護協会(大塚製薬)	経口補水液オーエスワン
日本看護協会(花王)	商品詰め合せ
(株)日立製作所	フェイスシールド
台湾政府	N95マスク
	防護服
(株)Lib Work	寄付金

ご案内

第69回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
51.嘔気・嘔吐 53.腹痛 54.便通異常(下痢・便秘)

下記により第69回公開講演会を開催致します。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 豊永 政和
記

日時：令和2年7月10日(金) 19:00～

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「当科における腹部救急疾患と手術」

演者：山鹿市民医療センター
外科 山村 謙介 先生

会費：無料

お問い合わせ先 📞 山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、青木
TEL：0968-44-2185 (内線608)



がんサーボードのご案内

当センターでは県指定のがん診療連携拠点病院として鹿本医療圏のがん診療に積極的に携わっており、消化器内科・腫瘍内科・消化器外科・放射線科・病理診断などの各科医師と、看護師、薬剤師、診療放射線技師、ソーシャルワーカーなど他職種メンバーが、がん患者の症状や治療方針について意見交換を行う「がんサーボード」を開催しております。興味のある先生方は、是非お気軽にご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日時：毎月第2水曜日 17:30～18:30

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

内容：前半：意思決定能力と意思決定支援

社会福祉士 福島 大志

後半：症例検討

参加費：無料

お問い合わせ先 📞 山鹿市民医療センター
医療技術部 薬剤科 柴田 佳代
TEL：0968-44-2185 (内線758)

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

7月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	池邊 賢一 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	池邊 賢一 (富口 純)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 浦上勝/石松憲明	工藤 智志 浦上 勝 石松 憲明	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※穴見 俊樹	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種(午後)	※石井 真美	—
セ ン サ ー 器	耳鼻咽喉科	—	※深見 直美	—	※非常勤医師
	眼科	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 7/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、28(火)、30(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

7月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	Bブロック
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	7/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、28(火)、30(木)	
PEG外来	担当医	隔週 第2・4水曜(午後)	5階病棟
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>